

環境研究総合推進費令和7年度事後評価個票

研究プロジェクト番号	S-18
研究プロジェクト名	気候変動影響予測・適応評価の総合的研究
研究実施期間	2020（令和2）年度～2024（令和6）年度
プロジェクト代表機関名	茨城大学
プロジェクトリーダー名	三村 信男

1．評価結果

評価ランク：S

2．委員の指摘及び提言概要

プロジェクトリーダーの指導のもとで、広範囲な一次データを取扱い多彩な手法を駆使して気候変動影響評価にかかる最新の科学的知見・データが創出され、適応策の検討基盤となる知見の提示など、学術的意義と政策的貢献の両面において有用な成果を取りまとめている。全国の自治体ごとの網羅的な数値解を探究し、気候変動適応策の効果を定量的に評価できる指標が示され、自治体における政策決定での活用、気候変動適応策の認知度向上に大いに活用される社会的に高い意義のある成果が得られている。農業と水害を軸に分野間の連携が進み、異なる観点からのモデルで相互評価されたことも高く評価する。これらは IPCC の AR7 サイクル、UNFCCC への成果として役立つだけでなく、関連分野研究への波及効果が非常に高いものと評価され、次期影響評価報告書への有効なインプットとなる。気候変動適応情報プラットフォームと連携した各種データベースの作成、アウトリーチによる成果の創出、包括的な英語本の発刊なども特筆される。今後、政策決定者向けサマリーへのさらなる貢献やサブテーマ間連携による分野を跨がった研究成果発表などの発展を期待する。